

学 報

Kobe College Bulletin

2025年 神戸女学院
創立150周年

150th
Bridging Generations

ISSN0389-164X

NO. 195

2022. 7. 14
神戸女学院
学報委員会

ポストコロナの授業形態を考える

学 長 中野 敬一

新型コロナウイルス感染症の世界的流行がWHOによって宣言されたのは2019年度末（2020年3月）でした。4月には日本政府による緊急事態宣言が発出され、2020年度は大混乱の中で始まりました。大学の最優先すべきことが「授業」の実施であったことは言うまでもありません。感染防止のため学生がキャンパスに来られないという状況で可能なことは、授業開始時期を延期してオンライン授業（遠隔授業）を行うという選択のみでした。5月連休明けの授業開始に照準を合わせてオンライン授業準備に全力を投じたことが思い出されます。

授業期間が始まると、皆が経験不足のため混乱も生じましたが、それでも間断なく授業を実施・継続できたのは今思い返しても驚嘆に値することです。学生と教員に向けてアンケートを実施したところ、学習の質が概ね確保されていたことがわかりました。学生、職員、教員の皆さんがそれぞれ懸命に努力してくださり、保護者の皆様のサポートがあったからこそこの成果であったとあらためて感謝しています。

翌21年度は事態の好転が国内でも期待されており、本学でも対面授業数を増やして開始しました。しかし、感染再拡大により間もなく活動基準レベルが変更となり、最終的には前・後期合わせて計7回のレベル変更を行うことになりました。大変な事態でありましたが、学生・教職員が遠隔授業に慣れてきたことで授業は混乱も少なく進みました。レベルが下がった段階で部分的に対面を実施できたこともその一助となりました。しかし、先行きが見通せないことへの不安や焦りが常にあったのも事実です。



そのような状況を改善してくれたのが「ワクチン接種」の実施でした。2021年8月には本学内でも接種できることになり、本学の校医、看護師、職員、同窓生の医療従事者で組織する「KCメディカル」をはじめ多くの方々のご協力により、生徒と学生、教職員、またその家族の接種が実現し、地域住民の皆様にも接種枠を提供することができました。あらためてこの場を借りて感謝申し上げます。

そして、22年度を迎えました。コロナ禍の収束にはなお時間が必要とされていますが、4月当初よりはほぼ全面的に対面授業を実施しています。キャンパスに学生の賑わいが戻り、学生が教室で学ぶ姿を新鮮に感じました。課外活動や公開講座等も再開されています。友人を作る機会が乏しかったという学生

からは喜びの声も上がりました。

肝心の対面授業の状況はどうかというと、「パソコンに向き合う時間が減り、疲労が軽減した」「その場で質問できるのが良い」といった学生の声や、教員側からは「反応がつかみやすく、学生の理解度を把握できる」「交流や情報交換がしやすい」といった感想を聞いています。また、直接授業に関わることではありませんが、授業後に教室に残って友人と講義の内容を確かめあったり、関心を広げて話し合ったりすることの重要性を指摘する声もあります。オンラインの場合には授業が終わると出席者が直ちに画面から退出してしまうので、このような機会が失われてきたのです。

対面授業の良さを再確認している一方で、本学や他大学においてオンライン授業に対する評価が上がっているのも事実です。学生からの意見としては「通学時間の節約」が高い割合を占めています。オンラインが主流であった時期と比べると通学の所要時間の差は歴然としています。キャンパスで学ぶことの意義や魅力をあらためて問う必要があるでしょう。幸いにも本学の場合はヴォーリズ建築による素晴らしい教育環境があります。さらにそれを活用する方法を探ることや対面授業のほうが明らかに効果的であるといえる学習プログラムを提供しなければなりません。

知識伝達型の講義はオンラインの方が適しているという意見も少なくありません。特に大教室で行われる講義の場合と比較すると、オンラインであれば周囲からの雑音が入ってこないので集中して学ぶことができるのです。

オンライン授業の中でも、録画された授業を自分の都合のよい時間に視聴できる「オンデマンド」方式の講義のメリットも挙げられています。パソコン画面を連続して見ることによる疲労の軽減ができることや、体調の悪い時には大変便利です。オンラインのデメリットに心身の健康不安が指摘されているのでその解決策に繋がります。

情報の見直しが可能であることもオンデマンドのメリットとして挙げられます。画面の静止や繰り返し再生もできるので復習をする際には便利であり、受講者の理解度が高い、というのです。たしかに学生からのコメントシートを読むと、対面よりオンデマンドのほうが知識を正確に伝達できていると私自身も感じるがありました。

主に知識を教授する講義については基本的にオンラインとし、発表やディスカッションを少人数で行う授業を対面で行うことを検討している大学もあります。この場合はオンデマンド講義の視聴を事前学習（予習）として扱い、少人数による授業内でのやり取りの充実を図ることが期待されているようです。このような形のオンデマンド講義を行うのであれば、ゼミや少人数授業などの質が高くなることも期待できるでしょう。単に聴いて終わるだけの講義ではなく、事前視聴を前提としたディスカッションを行うのであれば、学生のオンデマンド視聴の集中力も高まります。大学の単位制度では授業時間外での学習時間（予習復習）が必要とされていますが、これをより実質化できることにも繋がります。

オンラインの活用により講義等にゲストスピーカーを比較的容易に招くことも可能となりました。遠方の場合は移動時間や費用の面でも大きく異なるので、従来よりも確実に可能性が広がります。海外からのゲストという場合にはなおさらのことでしょう。

リカレント教育にもオンラインの活用は欠かせません。再就職やキャリアアップに関連した「女性の学び直し」を支援する取り組みについては本学も検討を続けてきましたが、実際にキャンパスで行う場合には時間や距離といった制約があって参加困難であることが懸案となっていました。オンラインの活用はその解決策となるのです。

さらに、現在は卒業に必要な単位数のうち60単位がオンライン授業の上限と定められていますが、緩和されることになるようです。かねてより60単位に相当する2年次と3年次の授業をすべてオンラインで実施し、大学から遠く離れた国内外の任意の場所で学ぶことを可能にする活用例を文科省は示していますが、さらに斬新な活用例も考えられます。

以上のように、コロナ禍によってもたらされたオンラインという方法は奇しくも教育の可能性を広げ、大学の教育に大きな変化をもたらそうとしています。努力して手に入れた技術でありますから、本学においても対面授業とオンラインを単に対立させるのではなく、それぞれの利点を生かしながらより充実した教育の提供ができるように検討したいと考えています。もちろん、オンライン授業に適した環境整備等は不可欠となりますので、それらに関する知見の結集にも励んでまいります。

KCCだより

[コーベ・カレッジ・コーポレーション (Kobe College Corporation) は、1920年に神戸女学院のキャンパス移転の資金援助のため設立された、アメリカ合衆国イリノイ州を本拠地とする非営利団体 (NPO) です。以来、日米両国の学生生徒ならびに教員のためにさまざまな文化交流の機会を創出するなど、有形無形の力強い支援を行い、神戸女学院はその活動によって大きな恩恵を受けてきました。2004年、KCCはその活動範囲を拡大するために、名前の後に“Japan Education Exchange”という副称を付け加えて、通称 KCC-JEE となりました。今回は、KCC-JEE 理事、学院評議員でもある水野多美さんが寄稿してくださいました]

ドタバタの一時帰国

KCC-JEE 理事 水野 多美

いつもドタバタと帰国しています。コロナ禍での規制が少し緩み、NY にて予定していたことがキャンセルとなり、慌てて旅行会社へ連絡してチケットを手配。東京オリンピック前に話題になっていた Japan Rail Pass (日本人以外の外国人が対象で在米日本人には発行しないと規定されそうだった) も取得できました。

5月14日にマンハッタン内で開催された、Japan Parade で「New York 連」として阿波踊りを踊り、翌日、まだ足がじんじん痛いまま、長時間のフライトに耐えました。

日本政府が規定するワクチン以外を接種した為、1週間の自主隔離。入国後3日目に自主テストで隔離解除されました。US ではワクチンの接種が進み、ブースター2回目接種した方も周りには多くなっています。

今回の帰国は、5月25日のKC評議員会出席が主目的でした。その当日の会議前に、めぐみ会館奥に位置するお茶室に立ち寄り、KC大学生のお点前をいただく幸運な機会もいただきました。長いお付き合いの和菓子屋さんからKCへお届けいただく生菓子は本当に美味しかった。ご馳走さまでした。

帰りの西宮北口駅構内で、KCC理事で研究滞在中のシンディにすれ違い、2人でビックリ、世界は小さいことを実感しました。

コロナ禍で2年以上オンラインでの繋がりがかったのが、偶然にも、KCC理事が同時期に3人、神戸に居ることは、奇跡かと思えました。会長ロベルタは、3時間半の入国審査で大阪行きに乗り遅れ、東京1泊のハプニングも乗り越え、井出敦子さんを変え、西宮北口で3人の楽しいランチができました。

今回も気ままに飛びまわり、友人と和みの時間、おしゃべり、美味しい食事、と有難い時間を過ごしました。ずっと神戸に居たら、普通のおばさんだけれど、久しぶりに会えるアメリカ帰りの変なおばさんで、皆さまに歓迎いただき、楽しかった!!!

次の再会を楽しみに皆さまのご健康をお祈りします。

神戸にて。6月1日



KCC-JEE 理事会 シカゴにて



Japan Parade で「New York 連」として阿波踊り

神戸女学院教育振興会寄付金

神戸女学院教育振興会ホームページ
(スマートフォンにも対応しています)



神戸女学院教育振興会



平素より神戸女学院教育振興会募金事業にご厚志ならびにご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

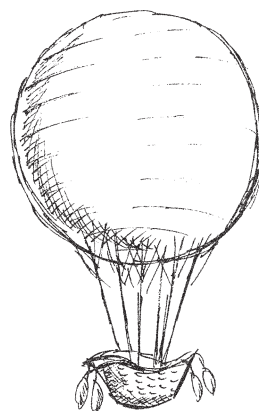
2021年度も2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症流行に伴い特にご指定のない限りご芳志の全額を「生徒・学生の支援」に充てることとし、その目的に沿って活用させていただきましたのでご報告申し上げます。

2021年度ご寄付実績

区 分	件数/冊数	金額(円)
同窓生	734件	28,953,890
在校生		
保護者(大学・中高)	163件	10,433,000
役員(教職員を除く)	23件	1,130,000
教職員・旧教職員	69件	3,433,000
法人・団体	33件	7,542,030
一般有志	11件	234,001
金銭によるご寄付計	1,033件	51,725,921
古本募金によるご寄付	15,461冊	1,420,434
寄付金額合計		53,146,355

※複数の区分に該当する方の場合、事務処理上妥当と思われる区分を選択しております。

ご寄付をいただきました皆様、本当にありがとうございました。なお、ご寄付者芳名録は、8月にお届けする「2022年度ご寄付のお願い」に掲載しておりますのでご覧ください。



神戸女学院2021年度決算報告、 2022年度事業計画及び2022年度当初予算

2021年度に実施した事業の内容及び2022年度事業計画は、『2021年度事業報告書』に記載しております。以下の本学院ホームページをご覧ください。
<http://www.kobe-c.ac.jp/foundation/financial/index.html>
 また、当該ホームページ上では、決算書も公開しておりますので、併せてご参照ください。

I. 2021年度神戸女学院決算報告

1. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、①教育活動、②教育活動以外の経常的な活動、③その他の活動に対応する事業活動の収支の内容を示し、すべての事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにするために行うものです。2021年度の事業活動収支計算書の概要は以下の通りです。

(1) 教育活動収支差額

教育活動収入は、学校法人の本業である教育活動からの収入です。2021年度の教育活動収入は、48億89百万円で、前年度比1億55百万円の減少となりました。内訳をみますと、学生生徒等納付金38億66百万円は、前年度比2億67百万円の大幅減少です。補助金は、学生数の減少により経常費補助が増加したことを主因に32百万円増加しました。寄付金74百万円は、コロナ禍を理由とした寄付が減少したため6百万円減りました。また、入学検定料の減少により、手数料収入は56百万円と前年度比11百万円減少となりました。一方で、学生寮再開により、付随事業収入は70百万円と前年度比54百万円増加しました。また、私立大学退職金財団等交付金の増加等により、雑収入は2億47百万円と前年度比43百万円の増加となりました。

教育活動支出は、学校法人の本業である教育活動に関する支出です。2021年度の教育活動支出は、52億7百万円で前年度比1億5百万円の増加となりました。内訳をみると、人件費32億17百万円は前年度比68百万円の増加となりました。教育研究経費は16億66百万円で前年度比39百万円の増加となりました。これは、ITリプレイスに伴い業務委託費が1億33百万円増加したほか、コロナ禍がやや収束に向かう中、対面授業が原則となって光熱水費や旅費交通費が増加した一方で、前年度コロナ禍の影響で2億78百万円と多額にのぼった奨学金が減少したことによるものです。管理経費3億24百万円は前年度並みとなりました。

以上の結果、教育活動収支差額は3億18百万円の赤字となりました。前年度比で2億60百万円の赤字幅拡大となっています。

(2) 経常収支差額

経常収支差額は、教育活動収支差額に主に財務活動の収支である教育活動外収支差額を加算した額です。2021年度の教育活動外収支差額は、金銭信託等の運用により24百万円の黒字となりましたが、経常収支差額は、2億94百万円の赤字と、前年度比では、2億62百万円の赤字幅拡大となりました。

(3) 基本金組入前当年度収支差額

経常収支差額に特別収支差額59百万円を加えた基本金組入前当年度収支差額は、2億35百万円の赤字となり、前年度比では、2億5百万円の赤字幅拡大となりました。

2020年度の基本金組入額合計は、1億68百万円で、前年度に比べて1億48百万円増加しました。これは、ITリプレイスにより固定資産が増えて1号引当金への組入れが行われたためです。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を差引いた当年度収支差額は、4億2百万円の赤字となり、前年度比では、3億53百万円の赤字幅拡大となりました。

2. 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに支払資金(現預金)の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。事業活動収支計算書と資金収支計算書はその作成目的が異なるため、事業活動収支計算書では資金の出入りを伴わない項目も計上されますが、資金収支計算書では資金の出入りが反映されます。例えば、有価証券の売却を行った場合、事業活動収支計算書では、売却収入と有価証券の簿価(有価証券の取得価額)の差額が資産売却差額(または資産処分差額)として計上されますが、資金収支計算書では、売却収入額が計上されます。2021年度の資金収支計算書の概要は以下の通りです。

(1) 収入の部

以下、2021年度の資金収支の収入の部について説明します。事業活動収支計算書と重複する部分は、前述の事業活動収支計算書をご覧ください。

資産売却収入には、前年度は有価証券の売却収入200百万円及び有価証券の償還収入200百万円が計上されていましたが、2021年度はありませんでした。

事業活動収支計算書

(単位：百万円)

	科 目	本年度	本年度	前年度	増減	
		予算	決算(A)	決算(B)	(A)-(B)	
教育活動収支	事業活動 収入の部	学生生徒等納付金	3,845	3,866	4,133	△ 267
		手数料	57	56	68	△ 11
		寄付金	70	74	80	△ 6
		経常費等補助金	569	575	543	32
		付随事業収入	61	70	16	54
		雑収入	250	247	204	43
	教育活動収入計	4,851	4,889	5,044	△ 155	
	事業活動 支出の部	人件費	3,187	3,217	3,148	68
		教育研究経費	1,778	1,666	1,627	39
		管理経費	327	324	326	△ 2
徴収不能額等		1	1	1	0	
教育活動支出計	5,292	5,207	5,102	105		
教育活動収支差額	△ 441	△ 318	△ 58	△ 260		
教育活動外収支	事業活動 収入の部	受取利息・配当金	25	25	26	△ 1
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0
		教育活動外収入計	25	25	26	△ 1
	事業活動 支出の部	借入金等利息	1	1	1	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0
		教育活動外支出計	1	1	1	0
教育活動外収支差額	24	24	25	△ 1		
経常収支差額	△ 417	△ 294	△ 33	△ 262		
特別収支	事業活動 収入の部	資産売却差額	0	0	0	0
		その他の特別収入	88	99	14	85
		特別収入計	88	99	14	85
	事業活動 支出の部	資産処分差額	39	38	11	27
		その他の特別支出	0	2	0	2
		特別支出計	39	40	11	29
特別収支差額	50	59	3	56		
基本金組入前年度収支差額	△ 367	△ 235	△ 29	△ 205		
基本金組入額合計	△ 118	△ 168	△ 20	△ 148		
当年度収支差額	△ 485	△ 402	△ 49	△ 353		
前年度繰越収支差額	△ 1,587	△ 1,587	△ 1,652	66		
基本金取崩額	0	0	115	△ 115		
翌年度繰越収支差額	△ 2,071	△ 1,989	△ 1,587	△ 402		
(参考)						
事業活動収入計	4,964	5,013	5,085	△ 72		
事業活動支出計	5,331	5,248	5,114	134		

資金収支計算書

(単位：百万円)

収入の部				
科 目	本年度	本年度	前年度	増減
	予算	決算(A)	決算(B)	(A)-(B)
学生生徒等納付金収入	3,845	3,866	4,133	△ 267
手数料収入	57	56	68	△ 11
寄付金収入	70	75	80	△ 5
補助金収入	657	671	556	115
資産売却収入	0	0	400	△ 400
付随事業・収益事業収入	61	70	16	54
受取利息・配当金収入	25	25	26	△ 1
雑収入	250	244	204	40
借入金等収入	0	0	0	0
前受金収入	660	544	559	△ 15
その他の収入	195	227	1,585	△ 1,357
資金収入調整勘定	△ 751	△ 860	△ 836	△ 23
前年度繰越支払資金	3,663	3,663	3,347	317
収入の部合計	8,731	8,583	10,138	△ 1,555
(参考)				
収入の部合計-前年度繰越支払資金	5,068	4,920	6,791	△ 1,871
支出の部				
科 目	本年度	本年度	前年度	増減
	予算	決算(A)	決算(B)	(A)-(B)
人件費支出	3,219	3,250	3,144	106
教育研究経費支出	1,461	1,377	1,307	70
管理経費支出	302	299	300	△ 1
借入金等利息支出	1	1	1	0
借入金等返済支出	13	13	13	0
施設関係支出	81	135	57	77
設備関係支出	187	174	96	78
資産運用支出	32	59	1,601	△ 1,541
その他の支出	125	179	128	51
資金支出調整勘定	△ 120	△ 165	△ 172	7
翌年度繰越支払資金	3,430	3,261	3,663	△ 403
支出の部合計	8,731	8,583	10,138	△ 1,555
(参考)				
支出の部合計-翌年度繰越支払資金	5,301	5,322	6,475	△ 1,152

借入金等収入は2021年度もありませんでした。前受金収入は、2022年度入学者が2021年度よりさらに減少したため5億44百万円となり、前年度比15百万円減少しました。また、その他の収入は前年度多額にのぼった退職給与引当特定資産の振替に伴う特定資産取崩収入がなかったため、2億27百万円にとどまり、前年度比13億58百万円の減少となりました。

前期末前受金及び期末未収入金(資金収入調整勘定)を控除し、前年度繰越支払資金を加算した収入の部合計は、85億83百万円となり、前年度比では15億55百万円の減少となっています。

(2) 支出の部

次に、2021年度の支出の部について説明します。収入の部同様に、事業活動収支計算書と重複する部分は、前述の事業活動収支計算書をご覧ください。

借入金返済支出は、2021年度も約定返済により、前年度と同額の13百万円となりました。施設関係支出は、ITリプレイスを主に1億35百万円と前年度比で77百万円増加しました。設備関係支出も同様の事情により1億74百万円となり、前年度比では78百万円の増加となっています。資産運用支出は、前年度は退職給与引当特定資産の振替に伴う繰入支出で多額にのぼりましたが、2021年度はこうしたことがなかったため、59百万円にとどまり、前年度比では15億41百万円の減少となりました。前期末前払金及び期末未払金(資金支出調整勘定)を控除し、翌年度繰越支払資金を加算した支出の部合計は、85億83百万円で、前年度比では15億55百万円の減少となりました。

3. 貸借対照表

貸借対照表は、会計年度末の財政状態（運用形態と調達源泉）を明らかにするものです。

2021年度の貸借対照表の概要は次の通りです。

(1) 資産の部

2021年度末の固定資産は、148億65百万円と前年度比48百万円の減少となりました。前年度比減少の要因は、主に、有形固定資産の減価償却3億14百万円です。

2020年度末の流動資産は35億81百万円となり、前年度比では、現金預金の減少を中心に、2億48百万円の減少となりました。

2021年度末の資産の部合計は、184億47百万円と前年度比2億97百万円の減少となりました。

(2) 負債の部

2021年度末の固定負債は、15億27百万円と前年度比46百万円の減少となりました。これは、私立学校振興・共済事業団からの長期借入金が約定返済により13百万円減少するとともに、退職給与引当金が33百万円減少したためです。

2021年度末の流動負債は、8億47百万円となり、前年度比16百万円の減少となりました。これは、新入生の減少により、前受金が前年度比15百万円減少し、5億44百万円となったことによるものです。

2021年度末の負債の部合計は、23億74百万円となり、前年度比62百万円の減少となりました。

(3) 純資産の部

2020年度末の基本金は、180億62百万円となり、前年度比1億68百万円の増加となりました。前年度比増加の主因は、第1号基本金*が1億8百万円増加し、第3号基本金**が59百万円増加したことによるものです。

2021年度末の繰越収支差額は△19億89百万円となり、前年度比で、事業活動収支における当年度収支差額（△4億2百万円）相当額分、マイナス幅が拡大しております。

* 第1号基本金は、学校法人が設立当初に取得した教育の用に供される固定資産及び教育の充実向上のために取得した固定資産の価額となっています。

** 第3号基本金は、基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額となっています。

貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部			
科 目	本年度末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
固定資産	14,865	14,914	△ 48
有形固定資産	8,378	8,415	△ 37
土地建物	1,693	1,692	1
構築物	3,687	3,765	△ 79
構築物	405	421	△ 16
教育研究用機器備品	474	427	47
管理用機器備品	33	35	△ 2
図書	2,087	2,075	12
車両	1	1	0
特定資産	6,361	6,345	16
第3号基本金引当特定資産	1,662	1,603	59
退職給与引当特定資産	1,396	1,429	△ 33
減価償却引当特定資産	3,137	3,137	0
岡田山建築保存引当特定資産	167	176	△ 10
その他の固定資産	126	153	△ 27
電話加入権	4	4	0
ソフトウェア	14	19	△ 5
有価証券	0	0	0
差入保証金	4	4	0
出貸資金	21	21	0
貸与奨学金	82	105	△ 23
その他	0	0	0
流動資産	3,581	3,830	△ 248
現金預金	3,241	3,644	△ 403
修学旅行費預り資金	20	19	0
未収入金	301	155	146
前払金	20	12	8
資産の部合計	18,447	18,744	△ 297

負債の部

科 目	本年度末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
固定負債	1,527	1,573	△ 46
長期借入金	131	144	△ 13
退職給与引当金	1,396	1,429	△ 33
流動負債	847	862	△ 16
短期借入金	13	13	0
未払金	156	162	△ 5
前受り金	544	559	△ 15
預り金	113	109	4
修学旅行費預り金	20	19	0
負債の部合計	2,374	2,436	△ 62

純資産の部

科 目	本年度末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
基本金	18,062	17,895	168
第1号基本金	16,046	15,938	108
第3号基本金	1,662	1,603	59
第4号基本金	354	354	0
繰越収支差額	△1,989	△1,587	△ 402
翌年度繰越収支差額	△1,989	△1,587	△ 402
純資産の部合計	16,073	16,308	△ 235

負債及び純資産の部合計	18,447	18,744	△ 297
-------------	--------	--------	-------

II. 2022年度事業計画 (2022年3月23日 理事会承認)

1. 神戸女学院が今後取り組む改革 (改革の必要性)

- ・2021年度大学入学者数は、479名とこれまで維持してきた入学定員 (566名) を大幅に割り込むこととなりました。この原因については、入試現場からの情報等を踏まえると、18歳人口の減少が顕在化してきている中で大学間での学生獲得競争が強まり、学科改編や施設の更新等により大学進学者へ魅力を訴える大学が増えてきていること、大学進学者が資格取得等が可能な学科を選好する傾向が強まってきていること、新型コロナウイルス感染拡大に伴う先行きの不透明感がこうした傾向を一層加速していること、などが影響しているものと考えられます。
- ・こうした中で、神戸女学院は、これまでも建学の精神を大切にしつつ、教育内容の見直しに取り組んできましたが、入学者をめぐる環境が急激に変化してきている中であって、改めて時代の要請に合った教育について考え直す必要が出てきているといえます。このため、これまでも大切にしてきた建学の精神は堅守しつつも、時代の変化にも対応する形で学院教育を見直すことが必要です。
- ・経営面でも、これまでと同規模の学生数確保が困難であることを前提として見直しを図る必要があります。また、いろいろな変化に対して学院経営を迅速に対応させるために、事務体制の見直しを図ることも必要となっています。このほか、文科省が検討中の学校法人のガバナンス改革に合わせた改革も視野に入れて改革を行う必要があります。

1-1. 大学改革

2021年度の入学者数が大幅に落ち込み、本学は大きな危機に直面しています。背景には18歳人口の減少に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大といった社会環境の変化がありますが、時代の変化に応じた教学内容の改編や他大学との差別化を本学が図れず、それにより高校生等の本学への興味が薄れ認知度が低下したことで、今回の志願者および入学者の減少を招いたと考えられます。この状況を挽回するためには、大学の存在とその内容の認知度向上のための方策を立て実行していくことが急務です。この危機を乗り越えるために、神戸女学院の全教職員が力を合わせ、変化し続ける組織をつくり、今後も激しく変化する社会に対応していく必要があります。

そのために、以下の改革に取り組みます。

- ・既存学部の改組をはじめとする社会ニーズ等に応じた教育研究体制の見直しに着手します。
- ・本学の教育の三つの柱 (キリスト教主義、国際理解の精神、リベラルアーツ教育) に基づく教育研究活動の取組みについて、学生、受験生をはじめ、社会により広く理解されるよう、広報を強化していきます。

- ・外部との接点を増やし、社会のニーズを常にキャッチできる体制づくりを進めます。
- ・現行の古い仕組みを変え、それぞれの責任においてスピーディーに物事を進める仕組みづくりを進めます。
- ・教員と職員が1つの課題に異なる立場から関わり、対応すべき課題に適切に打つ手を整えられるよう、教職協働を強化します。

1-2. 経営改革

(1) 運営体制・組織の見直し

①理事長補佐機能の充実・事務局長設置の検討

- ・学院をめぐる経営環境が厳しくなっている中、学院の経営問題に迅速に対処するために、事務組織のトップに事務局長を置く方向で検討を開始します。
- ・こうした見直しは、学校法人ガバナンス改革の方向性を確認しつつ、検討を進めます。

②大学の教学改革に伴う大学組織・職員配置の見直し

- ・学長サポート機能の強化の観点から、大学事務長室と学長室を一本化します。
- ・学長の下に大学事務長に加えて、1名から2名の大学事務長補佐を置きます。
- ・大学広報と入試広報の相互に協力しあえる体制、ウェブサイトでの発信の速攻性の確保のため、広報課 (仮) を新設し、大学事務長の管轄下に置きます。
- ・この体制下で、学部事務室と教務課との事務の割り振りの再検討を進め、学部事務室のスリム化を進めます。

(2) 人事・給与体系等の見直し

- ・学院の経営状況に即した人事・給与体系となるよう、見直しについて検討を開始します。

(3) 就業規則の見直し

- ・2021年度に運用面で課題が浮き彫りとなった就業規則について、2023年度の実施をめざし、2022年度中に就業規則改訂の検討を行います。

(4) 人材育成 (主として職員)

- ・将来の学院を担える見識ある人材を育成するための育成プログラムを検討します。

(5) 施設整備

- ・「キャンパス再整備マスタープラン」については、入学者を確保する重要な要素でもあり、いたずらに凍結を継続することも好ましくありません。また、150周年寄付募集の強力な材料でもあります。
- ・大学の教学改革や在学者数減に伴う施設に求める量・質の変化を正確に把握するとともに、支出可能な資金の確認を行い、凍結を解除し得るかどうかを検討します。

(6) 資産運用

- ・資産運用にあたり、引き続き資産の安全性にウェイ

トを置きつつも、利回りの向上の余地がないか、資産運用方針の見直しを検討します。

2. 部署別計画

2-1. 大学

(1) 広報の強化

- ・改めて、学生・保護者に加えて受験生等を含む広義のステークホルダーの目線から、広報の内容を点検し、本学の学びの魅力の発信を充実させるとともに、特に入試広報においては、高校低学年からの本学への認知度向上を意識した取り組みを進めます。また、本学の強みの一つである就職実績についても効果的な広報を展開します。
- ・2023年度に予定しているホームページのリニューアルにおいて、本学サイトと入学情報サイト、キャリアセンターサイトを統合し、受験生にわかりやすいサイトを構築します。

(2) 国際化の推進

- ・神戸女学院大学の教育の三つの柱の一つでもある、国際理解の精神を発展させるものとして、国際的な知見を養うための教育体制の具体化を検討していきます。
- ・ウィズ・コロナにおける安全に配慮した留学プログラムの実施に取組むとともに、オンラインを活用する等の対応も充実させます。
- ・英語力の養成について、オンラインプログラムやTOEIC 講座の開催に加え、外部英語資格試験への受験料補助などの取組みを継続します。

(3) 学修環境とその体制の充実と強化

- ・ウィズ・コロナ、アフター・コロナにおけるキャンパスと教室を活用した安全な対面授業の充実を図ります。
- ・時代に即した質の高いオンライン教育と対面教育との両立を図るために所要の整備を行います。

(4) リベラルアーツ教育の推進

- ・学部・学科の枠組みを越えて学生が同じ教室に集い、共通のテーマについて幅広い視点で考察するクローバーゼミについて、導入後6年目を迎え、充実発展を図るため、改めて内容を検証します。
- ・Society 5.0の時代に向けて、数理・データサイエンス・AI教育の充実を図るとともに、より発展させるための新たな構想の検討を行います。

(5) 社会連携の強化

- ・本学の教育の柱の一つであるリベラルアーツの意味を地域社会に伝えることを目的とした新たな公開プログラムを開始します。
- ・高大連携推進の一環として、高大連携協定に基づく高大接続授業の継続的な実施を通じて、相互理解を深め、生徒・学生の育成に寄与します。

2-2. 中高部

(1) 1クラス40人以下の教育環境の整備

- ・2023年より中学部35人×4クラス体制を決定したことを受けて、教員の配置計画と、校舎改築による教室整備計画を検討します。

(2) 特別支援への対応強化

- ・不安を抱える生徒への対応として、今年はカウンセリング体制を強化します。

(3) IT 関連の整備

- ・IT 環境の整備の具体案を計画するとともに、2022年から新しくなった教科「情報」の実施計画、大学共通テストへの対応のための環境、授業内容について準備を進めます。

(4) クラブコーチ制への移行の検討

- ・クラブコーチ制導入、利用のための条件について整備します。

(5) 就学環境の整備

- ・昨年度に引き続き、葆光館空調システムの改修を行います。

(6) 新カリキュラム関係

- ・高校1年生に対する新カリキュラムがスタートします。これに伴い、新しいカリキュラムの運用を行います。

2-3. 法人

(1) 150周年関係

- ・大学の教学改革やそれに伴う「キャンパス再整備マスタープラン」の動向を確認しつつ、創立150周年に向けて、事務局としての適切な運営を図り、今後の計画の策定・実施を行います。

(2) 法人運営関係

- ・学校法人ガバナンス改革の方向性を確認しつつ、大学改革を推進すべく事務組織・職員配置の見直しについて検討を開始します。
- ・危機管理規程に基づき、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大という重大な危機事象への適切な対応と円滑な事業継続の実現に努めます。

(3) 財務関係

- ・2021年度の大学入学者減を受け2022年度も2021年度に引き続き事業活動収支の赤字が不可避の見通しとなっています。加えて、2022年度の大学入学者数についても、予算策定時に想定した入学者数を下回る可能性もあります。状況の変化に応じて適切な対応を図るよう努めます。
- ・低金利下における利子・配当収入確保は一段と難しくなっていますが、学院収支悪化を踏まえて、リスクとのバランスに十分配慮しつつ金融資産運用による収入増を図るよう努めます。
- ・2021年度に策定した「キャンパス再整備マスタープラン」については、現在実施に向けての検討を凍結

していますが、2022年度の入学者の状況等を踏まえつつ、財務面からみた計画凍結の解除の可能性について検討を行います

- ・従前より検討中の旅費規程の見直し作業を進め、旅費関連事務の標準化を図るよう努めます。

(4) 施設関係

①キャンパス再整備マスタープラン関係

- ・現在凍結中の2021年7月に策定した「キャンパス再整備マスタープラン」については、凍結解除の判断が決定された場合には、創立150周年記念事業として実施すべきプランを精査し、理事会も含めた関係部署とも随時意見交換を行いながら基本設計及び実施設計を進めます。

②学院施設の充実

- ・キャンパス内各所の社会的障壁の除去及び合理的配慮をより一層推進するための計画として構内通学路のバリアフリー化を進めます。
- ・予防保全として音楽学部2号館の経年劣化した屋上の防水層を全面改修します。
- ・設置後20年以上経過した学生寮の油圧式エレベータ2基を機械室が不要なロープ式エレベータに更新します。
- ・現在使用されていない院長公舎を解体し、仮設駐輪場他として活用できるよう整備します。
- ・設置後20年以上経過する社交館2、3階の空調室外機は規制により2020年に全廃されたR22冷媒（フロンガス）を使用していることから故障修理が困難なため更新します。
- ・順次行っている教室及び廊下の蛍光灯照明のLED化について、2022年度はジュリア・ダッドレー記念館、新社交館、渡廊下を対象として改修を進めます。また外灯の水銀灯のLED化も併せて実施します。
- ・文学館は配線経路が長く、また近年、既存のケーブルに対して電流負荷が上昇し、老朽化も高じて電圧低下による障害が頻発しています。その抜本的対策としてのケーブルの更新他の改修を計画します。

③重要文化財保存活用関係

- ・美装化により順次進めている室内の塗装めくれ修理として、講堂北面高窓の側壁及びヴォールト天井部、ソールチャペル二階南東部の補修を行います。
- ・理学館屋根漏水修理として2021年度に瓦及び下地の状況を調査した結果を踏まえ、豪雨時に漏水が生じないように防水シートを敷設、傷んだ古瓦に補修を施した上、葺き直します。
- ・2022年度から三か年計画の文化庁補助事業により正門及び門衛舎の保存修理工事を実施、初年度は基礎と地盤の調査等を行う予定です。

Ⅲ. 2022年度予算書

2022年度事業活動収支予算書の概要は以下の通りです。

事業活動収支予算書 (単位: 百万円)

		科 目	金 額	
教育活動収支	事業活動 収入の部	学生生徒等納付金	3,811	
		手数料	64	
		寄付金	70	
		経常費等補助金	555	
		付随事業収入	43	
		雑収入	42	
	教育活動収入計	4,584		
事業活動 支出の部	人件費	2,907		
	教育研究経費	1,510		
	管理経費	356		
	徴収不能額等	1		
教育活動支出計	4,773			
		教育活動収支差額	△ 189	
教育活動外収支	事業活動 収入の部	受取利息・配当金	24	
		教育活動外収入計	24	
	事業活動 支出の部	借入金等利息	1	
		教育活動外支出計	1	
			教育活動外収支差額	23
		経常収支差額	△ 166	
特別収支	事業活動 収入の部	資産売却差額	0	
		その他の特別収入	0	
			特別収入計	0
	事業活動 支出の部	資産処分差額	9	
		その他の特別支出	0	
		特別支出計	9	
		特別収支差額	△ 9	
		基本金組入前当年度収支差額	△ 175	
		基本金組入額合計	0	
		当年度収支差額	△ 175	
		前年度繰越収支差額	△ 2,071	
		基本金取崩額	47	
		翌年度繰越収支差額	△ 2,199	
		(参考)		
		事業活動収入計	4,609	
		事業活動支出計	4,783	

<留学報告>**国内留学報告**

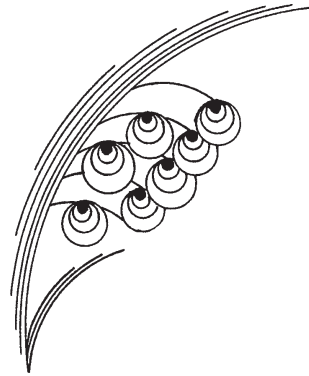
中高部教諭

2021年度1年間にわたり、関西学院大学大学院文学研究科博士課程前期課程（文化歴史学専攻地理学地域文化学領域）に国内留学をしていました。

中高部において地理を教えるうえで、必要となる知識・より深い思考方法を会得すべく、さらに今年度から開始された「地理総合」を教える際に、神戸女学院高等学部の生徒の興味を喚起できるような授業を展開することを念頭におきながら、全面的に研究活動に励みました。講義・ゼミ等で学んだことは即復習し、要点は失念しないうちに、みずからの授業構成ノートにまとめることを心掛けました。

地理学は分野が非常に多岐にわたっています。そういった諸分野が独立しているのではなく、相互に関連しながら地理学を構成しています。また、地理学は私が今までイギリスと日本で研究してきた、教育学・開発学・法学・経済学・政治学・平和学等とは異なっていて、思考方法の転換を求められる学問です。もちろん地理学においても、法学・政治学・経済学・開発学・教育学等は深く絡んできますが、あくまでも空間的観点に立脚した思考が求められます。論文を書く際の際の要領も、それまで私が取り組んできた修士論文（法学）、MSc (Development Studies)、Ph.D. (Education) とは大きく異なっています。今年度は神戸女学院に戻って働きながら、修士論文を完成させなければならないという思いがありましたので、できるだけ2021年度内に進められる範囲で執筆いたしました。様々な分野の講義を聴き、課題を提出し、神戸女学院での授業に生かすというのが、留学前における私の目標でしたが、これだけでは、地理学における思考方法が身についたとは言えないということを、修士論文を書きながら実感しております。

私の国内留学におきまして、学院・中高部の皆様より多大なるご支援を頂戴いたしましたことに、心から感謝申し上げます。



史料室の窓(57)

ダッドレー先生

— 神戸女学院創立の立役者 —

神戸女学院史料室 佐伯 裕加恵

神戸女学院の創立者は二人の婦人宣教師です。初代校長であった Miss Eliza Talcott (1936-1911) については話を聞く機会が多いと思いますので、今回はもう一人の創立者 Miss Julia Elizabeth Dudley (1840-1906) のことをお話ししようと思います。

先生は Rockford Seminary (現・Rockford University) で学び、教職に就いた数年後、海外伝道団体 American Board of Commissioners for Foreign Missions (通称アメリカンボード) の宣教師に志願して、日本に派遣されることになりました。

来日後最初の手紙には「この人びとは、ただ、宗教を必要としておりまして、わたくし共がやって参りましたのも、この人びとにそれを教えてその霊的本性を生かし、この人びとが立派なものをどっさり得ますようその特性に活力を与えるためでございます。〔略〕教育がもっと普及して、婦人がその感化力を善用するようになりました時には、力のあることでございましょう。」(1874年6月20日附)とあります。

日本に来て半年ほどで私塾を始めますが、それは先生の伝道活動に大きなかわりがありました。Dr. Jerome Dean Davis (同志社で活動) は避暑地・有馬で旧三田藩主・丸鬼隆義氏の知遇を得て、三田に伝道に行くことになりました。その時、タルカット、ダッドレー両先生も同行しました。その後もダッドレー先生は三田を訪ね、特に女性を対象として積極的に活動します。「二、三の母親がわたくしに申しました—自分の娘たちをあなたに連れて行ってもらいたい、そして自分にできるよりもよく、娘たちを教え導いてほしい—と。」(同上) 三田の人々の信頼を得て、私塾は始められたのです。

さらに三田の人々の要望を受けて、本格的な女学校設立に動き出します。散歩の途中、梅林に囲まれた山手の土地に目をとめた先生はまずデイヴィス博士を連れて行きました。「私がこゝと決めますと博士は〔略〕『ミスダツレーこんな所で女学校ですか』と〔略〕こぼれしよし。然し私はゆづりませんでした。」先生はなかなか勇気のある方で、「やさしい中にも、かたい所があって」「一度堅く決心された事は何処迄も成し遂げる丈夫の心意気」があったそうです(『恩師ミス、ダツレー』)。その後、タルカット先生をはじめ神戸の他の宣教師たちをともない、この梅林と水田の間にはさまれた候補地を検討した上で、地価をも検討し、この地に学校を建設すること



Miss Julia Elizabeth Dudley (1840-1906)

を決定しました。

神戸女学院は女子のための寄宿学校として創立されました。創立者はミッションスクールとして直接感化を与えられる場としての寄宿制度を重視しました。開校した学校ではタルカット先生が初代校長となり、寄宿部門の責任を担ったのがダッドレー先生でした。ダッドレー先生は学校における教育と同時に放課後の家庭訪問による伝道や街中での伝道も続けていました。しかし身体を壊して休養を余儀なくされ、校務から手を引くことになりました。この時先生は学校業務に失敗したといっています(1877年1月1日附)。

体調好転後、活動に復帰した先生は婦人のバイブルクラスの活動に力を入れます。子どもたちや病人のための小冊子も作りしました。そうして女子のための神学校を作る決心を固めました。のちの神戸女子神学校、現在の関西学院大学教育学部の源流の一つです。先生は引退帰米するまで女性の伝道者養成を続けました。教育者であり続けたのです。

ダッドレー先生は創立者の一人ではありますが、神戸女学院においては裏方の仕事に徹し、早くに学校業務から手を引かれたためにあまり注目されてきませんでした。また本人は「学校業務に失敗した」と語っていますが、先生は2つの学校の創立者になりました。そして、これまで見てきたように神戸女学院創立の立役者はダッドレー先生でした。先生は寄宿学校としての神戸女学院の精神的基盤を据え、基礎を支えた真の教育者であったといえるでしょう。

<事務室探訪>

院長室

院長室の事務分掌の一つに「KCCに関すること」があります。2022年5月、院長室はKCC-JEEのDr. Roberta Wollons 会長をお迎えしました。KCC-JEEとは1920年にアメリカ・シカゴに設立された神戸女学院の支援団体で、今も、学院の教育充実を積極的に支えてくださっています。

この日はまずKCC-JEEが人選と派遣を担ってくださっている中高部英語教員3名との懇談を設定させていただきました。

学院理事会にはKCC-JEEから推薦された理事が3名おられます。その方たちと学院常務委員会、また客員研究員として来学中のKCC-JEEのDr. Cindi Sturtz-Sreetharan 副会長もお招きして和やかな昼食の時をもちました。

昼食後は、大学での新しいインターンシッププログラムに関して意見交換をいたしました。KCC-JEEのサポートにより神戸女学院独自の質の高いプログラムが展開されることを期待しております。

その後、アメリカに留学予定の学生3名と懇談の時を設けました。2000年にWollons会長ご案内の下、飯先生、溝口先生のチャタム大学訪問を機に始められたチャタム大学留学プログラムに参加する学生とも話せたことを喜んでくださいました。

KCC-JEEとの関係は学院の大きな賜物です。先達が架けてくださった日米の橋を皆が渡り続けていくことができるように院長室は今後も力を尽くしていきたく存じます。

(院長室課長)



前列左から2人目 Wollons 会長、3人目 Sturtz-Sreetharan 副会長

ようこそ障がい学生支援室へ

学生生活支援センター障がい学生支援室（以下、支援室）をご紹介します。

2021年に公布された改正障害者差別解消法によって、私立大学においても、障がい者の不当な差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の不提供の禁止が法的義務となりました。合理的配慮とは、「障がいがある人が、障がいのない人と同じように人権や基本的な自由を得るための必要かつ適当な変更及び調整」することです。神戸女学院大学「障がい学生支援に関する基本方針」においても、「障がいのある人がそうでない人と平等に教育・研究に参加できるよう機会を確保する」という理念を掲げ、全学的に障がい等の困難を抱える学生への支援に取り組んでいます。

支援室はその相談窓口となり、「どんなサポート（合理的配慮）や工夫があれば学び続けることができるか」を学生と一緒に考え、合理的配慮の申請手続きを行っています。また、ご本人と所属学科、各部署、授業を担当する先生方とをつなぎ、合理的配慮の内容について調整する役割を担っています。

大学では学生自ら、自身の困りごとについて相談し、周囲に支援を要請し、意欲的に授業に参加することが求められます（自己権利擁護）。学生が主体的に豊かな学生生活を送り、自立した姿で社会へと巣立っていけるように、学生の意思を尊重しながら、障がい等の困難を抱える学生の大学生生活をサポートしていきたいと考えています。

(障がい学生支援室)



支援室リーフレット表紙

大学報告

宝塚市と包括連携協定を締結

神戸女学院大学は宝塚市と包括連携協定を締結することとなり、4月20日に山崎晴恵宝塚市長と中野敬一学長が出席し、宝塚市役所にて協定締結式を行いました。

本協定は、本学と宝塚市が相互の連携と協働により、SDGsの取組等地域の諸課題に迅速かつ適切に対応し、地域の活性化及び市民サービスの向上を図ることを目的としたものです。

この目的達成のために相互に連携・協力する事項としては以下のものがあります。

- (1) まちづくりに関すること。
- (2) 人材育成に関すること。
- (3) 女性活躍に関すること。
- (4) 学術・研究に関すること。
- (5) 産業振興、文化・芸術、自然環境に関すること。
- (6) 教育、子育て支援、社会福祉、生涯教育に関すること。
- (7) その他、双方が協議し、必要と認めること。

具体的には、本学の授業の中で、宝塚市のホームページや広報誌に掲載する外国人市民向けの行政情報を、学生たちが「やさしい日本語」に変換する取り組みが既に始まっており、他にも本学の学生によるSNS等を通じた若者世代への宝塚市の魅力の発信や、ストーリーピアノを活用した演奏、ピアノを題材にした映像コンテンツの作成・発信などが予定されています。

締結式では学長から「大学のノウハウを生かし、宝塚市の課題解決、市民サービス向上に少しでも貢献したい」との言葉がありました。これからも、本学では地域と連携して、教育活動の充実を推進していきます。

(学長室課長)



包括連携協定締結式

『メイド・イン・バングラデシュ』劇場公開

英文学科では2020年より大阪アジア映画祭に協賛し、映画祭で上映されるバングラデシュ映画に日本語字幕をつけて上映する取り組みを行っています。この取り組みは、字幕翻訳作業を通じて映画に描かれたバングラデシュ社会やグローバル・イシューを熟知し、「社会に届ける」意図が込められています。英文学科グローバル・スタディーズコース担当の南出と通訳翻訳プログラム担当のJones准教授の指導のもとで、毎年30人の有志の学生たちが取り組んでいます。

この度、2020年3月開催の第15回大阪アジア映画祭で上映された映画『メイド・イン・バングラデシュ』が、配給会社パンドラにより、4月16日の東京・岩波ホールを皮切りに全国の映画館で劇場公開されました。上映には映画祭時に当時の学生たちが手がけた字幕がほぼそのまま採用され、「日本語字幕・神戸女学院大学英文学科（ベンガル語監修・南出和余）」とされました。また、4月23日岩波ホールでの上映と、6月12日元町映画館での上映では、南出が上映後のトーク「『メイド・イン・バングラデシュ』の裏側」を務めました。

本映画は、近年私たちの生活でも身近になった「バングラデシュ製」の衣料品が作られている現場と、厳しい労働状況に立ち向かい、立ち上がる女性の姿を描いています。この映画から学生たち自身が多くを学び、そして発信のお手伝いことができました。

(英文学科准教授 南出 和余)



バングラデシュ映画日本初の劇場公開

Bangladesh映画『地のない足元』字幕制作

英文学科の Bangladesh映画日本語字幕制作の取り組みも今年で3度目を迎えました。今年の対象映画は『地のない足元』（英題 No Ground Beneath the Feet）、Bangladeshの新鋭映画監督ムハンマド・ラッビ・ムリッダのデビュー作です。洪水に見舞われる厳しい自然環境と、村から都市への出稼ぎ者の苦悩という、Bangladeshの負の側面に焦点が当てられた本作は、映画を何度も繰り返し見て字幕を考える学生たちにとって決して楽しいばかりではありませんでした。それでも誰一人目を背けず、作品に込められた監督の思いや行間のメッセージを字幕に込めるべく、丁寧な作業が行われました。

3度目となる本取り組みへの社会的認知も徐々に増し、今年は読売新聞と朝日放送テレビ（「おはよう朝日です」）からの取材を受け、各新聞テレビで周知していただきました。本取り組みは学生間でも年を追うごとに人気が増し、30人の定員を超過する応募があります。翻訳作業は2人ペアで8～10分間の場面を担当しますが、昨年から前年の経験者数名がチェッカーとして全体を周り、場面間で表現のずれが生じないように調整役を務めます。今年も3人の上級生がチェッカーを担いました。

第17回大阪アジア映画祭での上映に際しては字幕制作者30人の名前がエンドロールに流れ、映画を見に来られた観客からは拍手とともに、「難しい映画によく頑張った」との激励の言葉もいただきました。

（英文学科准教授 南出 和余）



映画祭1回目の上映を終えて

大阪ガス都市開発との産学共創ワークショップ

3月23日、24日の2日間にわたり、大阪ガス都市開発と本学との産学共創ワークショップが行われ、20名の学生が参加しました。

1日目は「住みたい学生レジデンス」、2日目は「もし、女子大生がWeb広告代理店だったら」をテーマに実施されましたが、2日目の課題は実在の分譲予定マンションのInstagramでの広告デザインを作成するもので、優秀デザインは実際に広告で利用されるという責任重大なワークショップに学生たちは挑戦しました。

学生は両日ともに5班に分かれ、社員の方々のアドバイスを受けながら様々な意見を集約し、解決策やプランをまとめ、プレゼン用の資料を作成するという作業を限られた時間で仕上げました。各日、最後は社員の方々へプレゼンテーションを行い、講評をいただきました。プレゼンテーションにおいては、結論までのプロセスも含めて簡潔に言語化することを求められ、伝えることの大切さを学ぶ場になりました。

2日間を終え、学生たちはくたくたになりながらも「周りの神戸女学院生の魅力に気づき、自分の苦手も克服できた」「思考を言語化して伝えることの大切さを学んだ」「社会人の方々に関わり仕事を体験できたことで、漠然と抱えていた未来への不安が希望へと変化した」など、それぞれが未来への力を得たようでした。

今回、協働にて実施くださった大阪ガス都市開発株式会社の皆様に御礼申し上げます。

大学では今後も、学生と学外を結ぶ企画を実施していきます。

（学長室）



ワークショップの後、充実の面持ちで全員集合

「リベラルアーツ・カフェ」を開催しました

神戸女学院大学では、2022年度から新たな公開講座「リベラルアーツ・カフェ」を開催することになり、5月14日、その第一回が開催されました。

リベラルアーツ・カフェは、一般的な公開講座とは異なり、親しみやすく、分かりやすい内容の企画を、少人数で、お茶でも飲みながら、リラックスして楽しんでもらおうという講座です。講師と参加者が同じ目線の高さで、一緒に考えたり、体を動かしたりして、互いに交流することをめざしています。

第一回目は、このリベラルアーツ・カフェを企画した文学部総合文化学科の川瀬（哲学・倫理学）が講師を務め、「「生きがい」って何？」というテーマで実施しました。参加者は定員一杯の30名。20代から80代までの多様な年代の方に参加していただきました。

かつて神戸女学院大学の教授を務めた神谷美恵子の『生きがいについて』をもとにした1時間半の講演のあと、参加者全員で、30分程度、テーマに即して話し合いをしました。当初、初めて会う参加者どうしで交流ができるだろうかと心配したのですが、参加者のみなさんからは多くの発言があり、ある参加者の質問に対して、講師が答えるだけでなく、別の参加者からも回答があったりして、参加者どうしの交流も活発になされました。「生きがい」というテーマについて、参加者の皆さんと、真剣に、また楽しく考えることのできた、充実した2時間でした。

（総合文化学科教授 川瀬 雅也）



第一回リベラルアーツ・カフェの様子

2021年度 公認心理師・臨床心理士資格試験の合格率が100%

2021年度大学院人間科学研究科臨床心理学専攻修了生が「公認心理師」「臨床心理士」両試験に全員合格しました！公認心理師試験の全国平均合格率（厚労省発表）は、53.4%（2020年度）、58.9%（2021年度）であり、本学の100%は大変喜ばしい結果です。

公認心理師とは、国民の心の健康を保持・増進するために、保健医療、福祉、教育、司法、産業等の分野において、質の高い心理支援を提供することを目的として2017年に制定された心理専門職初の国家資格です。臨床心理士とは、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する臨床心理の専門職で、約30年の歴史と実績があり、心理職としての社会的信頼を得ている民間資格です。

本学では2002年より臨床心理士養成指定大学院としての心理臨床実践と教育・訓練を行ってきました。2018年から公認心理師のカリキュラムを学部と大学院で開始させ、長年の臨床心理士養成教育の実績を生かし、ダブルライセンスが取得できるカリキュラムを展開するとともに、少人数教育に根差した真の臨床実践力を身につける教育を目指しています。

歴代の修了生たちは、総合病院・心療内科、地方公務員（心理職）、児童養護施設、スクールカウンセラー、教育センター、大学学生相談室、警視庁、自衛隊（心理職）などに就職しています。2021年度に合格した修了生たちの、有資格者としてのキャリアはスタートしたばかりですが、多様な領域での活躍を応援しています。詳しくはHPを参照ください。

（人間科学研究科 HP）

https://h.kobe-c.ac.jp/g/pub_psychology/

（心理・行動科学科教授 須藤 春佳）



「小規模だが評価できる大学」 1位にランクイン

大学通信（東京）が、2021年度に全国進学校の進路指導教諭を対象に実施したアンケートにおいて、神戸女学院大学は複数項目について上位にランクインしましたので、ここにご紹介します。詳しくは大学通信サイトをご覧ください。

学生、保護者、及び社会からの期待に応えられるよう、これからも努力を重ねてまいります。

小規模だが評価できる大学（近畿編）：1位

（大学通信サイトより引用）1位は神戸女学院大学で32ポイント。（中略）ほとんどの授業が15人以内の少人数で行われるため、学生一人ひとりに応じた丁寧な指導が可能。発言する機会も多くコミュニケーション力が培われるほか、実験や実習も全員が参加できる環境で、豊かな知性と幅広い教養、応用力を育むことができる。また、全学科共通英語教育も特徴の一つ。英語が得意な学生はもちろん、苦手意識を持つ学生の力も確実に伸ばす、各学科の専門性に合わせたカリキュラムが用意されている。



小規模だが評価できる大学

（女子大学編）：2位

※関西では1位



教育力が高い大学ランキング

（女子大学編）：2位

※関西では1位



有名企業400社実就職率

ランキング：87位

※西日本私立女子大学では1位



（入学センター・広報室）

高大連携協定締結について

教育に係る交流を通じて大学と高校の教育を相互に活性化させるために、連携教育に関する協定を複数の高校と締結し、学生生徒及び教職員の相互交流を図っています。

具体的な連携教育事業として、本学教職員による模擬講義および大学見学等の実施や、本学学生の教育実習やボランティア等の当該高校での受入れを実施しています。あわせて、新たに始まった高校「探求」の授業における支援についても相談を受けており、現在検討を進めているところです。

これらの取り組みを通じて大学・高校の双方にメリットが多いため2021年度以降協定校の増加に取り組んでおり、新たに4校と協定を締結しました。

今後も本学のリベラルアーツ教育に理解があり、高大双方にメリットが見込まれる高校との協定締結を進めてまいります。

（現在の協定締結校）

高校名	締結年月
兵庫県立西宮高等学校	2011. 3
大阪女学院高等学校	2014.12
プール学院高等学校（大阪府）	2015. 2
和歌山信愛高等学校	2015. 2
梅花高等学校（大阪府）	2015. 3
帝塚山学院高等学校（大阪府）	2015. 3
大阪信愛学院高等学校	2017. 3
仁川学院高等学校（兵庫県）	2021.12
兵庫県立須磨友が丘高等学校	2022. 5
兵庫県立宝塚西高等学校	2022. 6
神田女学園高等学校（東京都）	2022. 6

（入学センター・広報室課長）

英文学科 New Student Day

英文学科では、2022年度より従来の「フレッシュマン・キャンプ」をジェンダーに配慮した New Student Day に改め、4月23日、本学院中庭で実施しました。

参加者はマスク着用、検温、消毒のうえ、5つのグループに分かれ、芝生に中村准教授デザインのレジャーシートを敷いてソーシャル・ディスタンスを保って座りました。上級生リーダーと教員の紹介に続いて、英語で讃美歌を歌い、上級生の英語聖書朗読、Carney 教授のお話を聴いて礼拝をまもらしました。

今回用意されたのは2つのアクティビティ。最初の「Who Am I?」は、上級生が出す出身地や趣味などのヒントからグループの誰のことかを当てるクイズです。お互いのことに少し詳しくなったところで、今度は「Where Is It?」です。上級生と教員を交え、校舎の一部の拡大写真がどこかを探して、グループごとに新緑のキャンパスを歩きます。優勝チームには KC オリジナル紅茶がプレゼントされました。普段接する機会の少ない上級生や教員と話すだけでなく、普段は行かない場所を知るきっかけにもなるゲームです。

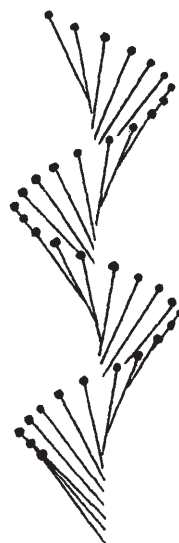
歩いた後はお弁当を楽しみ、午後は「Let's Talk」で上級生や教員と話して閉会しました。

今年度は14名の上級生リーダーがプログラム検討、しおり作成などの準備から当日の運営、さらに次年度へ向けての振り返りまで積極的に参加しました。天候にも恵まれ、新入生がお互いに、また上級生や教員と親交を深める1日を過ごせたことに感謝します。

(英文学科1年生学生主事 Susan Jones)



中庭でオリジナル・レジャーシートを敷いて



愛校週間と春季宗教強調日礼拝

創立者イライザ・タルカット先生の誕生日を含む1週間は愛校週間としてまもり、創立者の思いを確認する時としています。チャペルアワーでは、めぐみ会理事と、卒業生である職員2名からお話を伺うことができました。5月19日には教職員、同窓生の代表者とともに神戸再度山にあるタルカット先生の墓前にて礼拝をまもり、帰途神戸女学院最初の校地である神港学園を訪問しました。

大学では毎年、金曜日のアッセンブリアワーにて、春季宗教強調日礼拝（創立者記念日礼拝）をまもります。本年は講堂とソールチャペル両方を使用し、実に3年ぶりに対面で実施することができました。本年も、飯 謙院長より「創立者イライザ・タルカット先生（1836-1911）—神戸女学院建学の祈り—」と題して、ご講演いただきました。

タルカット家の歴史、来日前の先生の歩みや神戸女学院が創立された経緯など、丁寧にご説明いただきました。タルカット先生は会衆派の家に生まれ育ち、教師の道を歩まれました。ご親族のご不幸や看病により職を辞すなど、一本道を進まれたわけではありませんでした。しかし、自分のためではなく隣人の喜びのために、自らのタラント（才能、たまもの）を尽くして行動され、日本でご生涯を閉じられました。先生の「愛神愛隣」の精神は、学院に連なる多くの人々の心に刻まれ、今を生きる私たちへと受け継がれていることを改めて感じさせられました。最後に、タルカット先生に学んだ卒業生で、学校や教会の設立に尽力された不破（村山）きよ氏についてご紹介され、講演が終了しました。

今年度も建学の精神について良い学びの時を持つことができ、深く感謝いたします。皆でともに礼拝をまもれる日々が訪れることを心よりお祈りいたします。

(チャプレンス)

2021年度 神戸女学院大学図書館報告

1. 統計

• 蔵書数（冊）

	2021年度受入	2021年度末現在
和書	1,699	268,389
洋書	334	173,333
合計	2,033	441,722
AV資料	5点	4,172点

• 2021年度貸出状況（冊）

学 生	9,614
教職員	2,236
外来者	548

• 2021年度相互利用（件）

	文献複写	図書借用	閲覧	照会
依頼	399	48	3	11
受付	369	27	3	8

2. 受入図書

• 教育資料費による図書購入

『【復刻版】文庫』ほか計10タイトル 計 58冊

• 寄贈図書

『ウィリアム・メレル・ヴォーリズ：失意も恵み』ほか 計140冊

3. ガイダンス

- 新入生対象 視聴回数（Moodle 上動画）：466回
対面： 3回
- 2回生対象 対面： 3回
- 3回生対象 対面： 6回
- 音楽研究科対象 RILM 講習会（Zoom）： 2回

4. そのほか

- 本館貴重書庫改修
(壁面改修及び換気システム導入)

(図書館課長)

2022年度 大学・大学院入学試験結果概要

●大 学

学 部	学 科	入学定員	入学者数
文学部	英文学科	150	92
	総合文化学科	200	163
音楽学部	音楽学科	40	39
人間科学部	心理・行動科学科	96	111
	環境・バイオサイエンス学科	80	48
合 計		566	453

●大 学〔編入学（3年次）〕

学 部	学 科	入学定員	入学者数
音楽学部	音楽学科	1	1

●大学院（修士課程・博士前期課程）

研究科	専 攻	入学定員	入学者数
文学研究科	英文学専攻	13	4
	比較文化学専攻	5	4
人間科学研究科	人間科学専攻	10	12
音楽研究科	音楽芸術表現専攻	7	6
合 計		35	26

●大学院（博士後期課程）

研究科	専 攻	入学定員	入学者数
文学研究科	英文学専攻	2	0
	比較文化学専攻	2	1
人間科学研究科	人間科学専攻	2	0
合 計		6	1

2022年度 在籍学生数
(2022年5月1日現在)

●大 学

学部・学科	文学部			音楽学部	人間科学部			合計	
	英文学科	総合文化学科	小計	音楽学科	心理・行動科学科	環境・バイオサイエンス学科	小計		
1年	22000	92	163	255	39	111	48	159	453
2年	21000	92	174	266	42	90	76	166	474
3年	20000	153	223	376	38	113	83	196	610
4年	19000	156	220	376	48	106	102	208	632
	18000	15	18	33	2	5	4	9	44
	17000	4	2	6	1	2	1	3	10
	16000	1	2	3	0	0	0	0	3
	15000	0	3	3	0	1	0	1	4
合 計	513	805	1318	170	428	314	742	2230	

●科目等履修生

学 部	7
大学院	0

●聴講生

学 部	3
大学院	5

●大学院修士課程・博士前期課程

研究科・専攻	文学研究科			人間科学研究科	音楽学部	芸術学部	合計
	英文学	比較文化学	小計	人間科学	音楽芸術表現	芸術表現	
1年	2200	4	4	8	12	6	26
2年	2100	0	1	1	10	5	16
	2000	0	1	1	0	0	1
	1900	0	0	0	0	0	0
	1800	0	0	0	0	0	0
	1700	0	0	0	0	0	0
合 計	4	6	10	22	11	43	

●大学院博士後期課程

研究科・専攻	文学研究科			人間科学研究科	合計	
	英文学	比較文化学	小計	人間科学		
1年	2200	0	1	1	0	1
2年	2100	0	1	1	0	1
3年	2000	0	0	0	0	0
	1900	0	1	1	1	2
	1800	0	0	0	1	1
	1700	0	0	0	0	0
合 計	0	3	3	2	5	

2021年度 就職状況報告

学 科	卒業者数	就職希望者数	就職決定者数	就職決定率	進学者数	就職率
				就職決定者／ 就職希望者	大学院	就職決定者／ (卒業者-院進学者)
英 文	153	132	131	99.2%	6	89.1%
総合文化	219	190	187	98.4%	6	87.8%
音 楽	23	11	11	100.0%	3	55.0%
心理・行動科	105	83	82	98.8%	11	87.2%
環境・バイオエンス	83	66	65	98.5%	10	89.0%
合計	583	482	476	98.8%	36	87.0%

(2022年4月末日現在)

2021年度の新卒採用は、コロナ禍で行われる2年目の採用活動となりました。企業も学生も前年の経験を糧に、企業は「WEB」と「対面」を使い分けながら選考を進め、学生はオンラインでコミュニケーションをとることは当然のこととなりました。オンライン選考が主流となる中で、学生にとって移動時間や交通費が減少したことは良かったのですが、企業における職場の雰囲気や社員の人柄などの相互理解には少し課題が残るように思えました。

コロナ禍で就職活動を進めるに当たり、クラブ活動やアルバイトなどが制限され、エントリーシートの「ガクチカ(学生時代に力を入れたこと)」の設問に「何も書くことがない」という学生の声をよく耳にしました。しかし、今一度考えてほしいと思います。コロナ禍であったからこそ、頑張れたことがきっとあるはずです。企業が知りたいのは決して華やかな活動実績ではなく、その行動を起こそうと思った経緯、継続して頑張ったこと、その経験から学んだこと、それを今後どのように繋げていきたいと思っているのかなのです。以上のことから、その学生の人柄、将来的な可能性を知りたいという狙いがあります。

2021年度卒業生の就職決定率(就職希望者に対する就職者の割合)は98.8%で、コロナ禍が続く中で前年度比0.3ポイント上昇しました。このことは、昨年度同様に、学生がキャリアセンターの就職支援を活用しながら各自の進路についてしっかり考え、その目標に向かって最後まであきらめず取り組んだ結果だと言えます。

産業別では、卸売業・小売業が19.5%(前年度比0.5ポイント増)、サービス業が14.5%(同0.8ポイント増)、金融業・保険業が14.1%(前年度比2.2ポイント減)となりました。次いで医療・福祉、製造業、情報通信業が続いています。大きな変化が見られたのは、医療・福祉(前年度比5.0ポイント増)の増加です。昨年度より増加傾向にありましたが、少子高齢化が進む中で将来性を感じ、就職先として医療・福祉に目が向けられたことと思われます。

今後はウィズコロナ時代となり、就職活動環境も変化していくに違いありません。キャリアセンターでは企業の人事担当者、就職情報提供企業などから情報収集を行い、学生が戸惑うことなく安心して就職活動に取り組めるよう引き続き努めてまいります。

(キャリアセンター課長)

主な就職先**建設業**

一条工務店／積水ハウス／大和ハウス工業

製造業

オムロン／共立製薬／杏林製薬／極東開発工業／小岩井乳業／三栄源エフ・エフ・アイ／住友電気工業／TASAKI／タマノイ酢／東芝エレベータ／ハイレックスコーポレーション／パナソニック／YKK AP

情報通信業

NHK 高松放送局／宮城テレビ放送／セコムトラストシステムズ／T&D 情報システム／トランスコスモス／日本ビューレット・パカード／富士通 IT マネジメントパートナー

運輸業、郵便業

AIRDO／NX・NP ロジスティクス／川西倉庫／後藤回漕店／ジェイアール東海バスセンター／住友倉庫／日本通運／日立物流西日本／福山通運／三井倉庫ホールディングス／日本郵便

卸売業、小売業

エノテカ／岡本無線電機／川重商事／キャノンシステムアンドサポート／クリヤマジャパン／サンセイテクノス／シャープマーケティングジャパン／住友商事マシネックス／ダイワボウ情報システム／トラスコ中山／ナブコドア／日伝／布亀／三菱食品／ヤンマーグローバル CS／リコージャパン／アーカー／ウエルシア薬局／スギ薬局／メガネトップ／ルイ・ヴィトン ジャパン

金融業、保険業

三菱 UFJ 銀行／三井住友信託銀行／池田泉州銀行／紀陽銀行／但馬銀行／北陸銀行／ろうきん中央機関グループ／大阪シティ信用金庫／大阪信用金庫／尼崎信用金庫／西兵庫信用金庫／日新信用金庫／播州信用金庫／姫路信用金庫／兵庫信用金庫／きのくに信用金庫／広島信用金庫／共栄火災海上保険／住友生命保険／大樹生命保険／日本生命保険／明治安田生命保険／大阪北部農業協同組合／兵庫西農業協同組合／全国労働者共済生活協同組合連合会／東海東京フィナンシャル・ホールディングス／野村證券／MSK 安心ステーション／MS&AD 事務サービス／東京海上日動事務アウトソーシング／日興ビジネスシステムズ／三井住友トラスト・ビジネスサービス／明治安田オフィスパートナーズ／オリエンコーポレーション

不動産業、物品賃貸業

ジェイアール西日本総合ビルサービス／住友不動産販売／住友三井オートサービス／セキスイハイム近畿／パナソニックホームズ不動産／阪急阪神ビルマネジメント／三井不動産リアルティ／三菱 UFJ 不動産販売

宿泊業、飲食サービス業

パレスホテル／星野リゾート／ホテルモントレ／三井不動産ホテルマネジメント／リゾートトラスト

教育、学習支援業

ABC Cooking Studio／NOVA ホールディングス／ヒューマンアカデミー

医療、福祉

国立病院機構近畿グループ／社会保険診療報酬支払基金／日本年金機構／日本赤十字社兵庫県支部／社会福祉法人加東市社会福祉協議会／社会福祉法人西宮市社会福祉協議会

サービス業

旭化成アミダス／エイチアールワン／NTT ファシリティーズ／ジェイアール西日本ウェルネット／生活協同組合コープこうべ／セコム／総合警備保障／テイクアンドギヴ・ニーズ／PwC コンサルティング合同会社／郵船コーディアルサービス／吉本興業ホールディングス

公務

厚生労働省 兵庫労働局／国土交通省 近畿地方整備局／防衛省 航空自衛隊／大阪府／大阪府警察／大阪市／加古川市／たつの市／姫路市／和歌山県

主な進学先**英文学科**

神戸女学院大学大学院 文学研究科／明治大学公共政策大学院 ガバナンス研究科／King's College London

総合文化学科

神戸女学院大学大学院 文学研究科／神戸大学大学院 人文学研究科／兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科

音楽学科

神戸女学院大学大学院 音楽研究科

心理・行動科学科

神戸女学院大学大学院 人間科学研究科／早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科／立命館大学大学院 人間科学研究科／大阪大学大学院 人間科学研究科／兵庫教育大学大学院 学校教育研究科

環境・バイオサイエンス学科

神戸女学院大学大学院 人間科学研究科／大阪大学大学院 生命機能研究科／奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科／岡山大学大学院 教育学研究科／九州大学大学院 生物資源環境科学府

2022年度 キャリアサポートプログラム (案)

◆3年生対象

- 4/13(水) 就職ガイダンス①
 4/20(水) インターンシップガイダンス
 4/27(水) インターンシップ選考対策講座① (基本編)
 5/11(水) インターンシップ選考対策講座② (書類対策編)
 5/18(水) インターンシップ選考対策講座③ (社会人マナー編)
 5/25(水) 筆記試験対策ガイダンス
 6/ 1(水) 《就活ベーシック講座①》「自己PR」入門
 6/ 8(水) SPI 模試
 6/15(水) 《就活ベーシック講座②》
 履歴書+エントリーシート
 6/22(水) 《就活ベーシック講座③》職種研究
 6/29(水) 《就活ベーシック講座④》業界研究
 7/ 6(水) 《就活ベーシック講座⑤》企業研究
 7/13(水) 《就活ベーシック講座⑥》志望動機
 8/ 1(月)～3(水)
 自己分析とコミュニケーション講座
 8/23(火)～26(金) KC エアラインスクール
 9/28(水) インターンシップ事後研修会
 10/ 5(水) 就職ガイダンス②
 10/12(水) 《就活ベーシック講座⑦》就活マナー編
 10/17(月)～19(水) 言語・非言語 Web テスト
 10/19(水) 筆記試験対策ガイダンス
 10/26(水) 《就活アドバンス講座①》
 グループディスカッション
 11/ 9(水) 《就活アドバンス講座②》面接
 11/16(水) MOVICATION: 面接対策講座
 11/29(火)～12/1(木) 《就活アドバンス講座③》
 面接入門講座①
 12/ 3(土) OG 訪問会
 12/ 7(水)～9(金) 学内証明写真撮影会
 12/ 6(火)、7(水)、15(木) 《就活アドバンス講座④》
 面接入門講座②
 1/11(水) 企業・業界の選び方セミナー
 1/25(水) 就活総おさらいセミナー
 1/26(木) 《就活アドバンス講座⑤》
 グループディスカッション 実践編①
 1/30(月)～2/3(金) 《就活アドバンス講座⑥》
 面接体験講座
 1/30(月)～2/1(水) 言語・非言語 Web テスト
 1/31(火) 就職ガイダンス③
 2/ 3(金) お勧め企業紹介セミナー:
 学内セミナー参加企業編・OG 企業編

- 2/ 6(月) 《就活アドバンス講座⑦》
 グループディスカッション 実践編②
 3/ 1(水) 模擬面接講座①
 3/ 3(金) 模擬面接講座②
 3/ 8(水) 模擬面接講座③
 3/10(金) 模擬面接講座④
 3/15(水) 模擬面接講座⑤
 3/17(金) 模擬面接講座⑥
 3/22(水) 模擬面接講座⑦
 3/24(金) 模擬面接講座⑧
 3/29(水) 模擬面接講座⑨
 ※このほか、キャリアカウンセラー面談、後期に自
 己分析サポート面談、ゼミ訪問等を実施。

◆4年生対象

- 4/ 1(金) 模擬面接講座①
 4/ 8(金) 模擬面接講座②
 4/15(金) 模擬面接講座③
 4/18(月) 就活総おさらいセミナー
 (就活対策パッケージ)
 5/ 6(金) 模擬面接講座④
 5/13(金) 模擬面接講座⑤
 ※キャリアカウンセラーによる面談は授業期間中毎
 日実施。

◆2年生対象

- 6/17(金) 進路ガイダンス
 1/20(金) 就職ガイダンス

◆1年生対象

- 7/ 1(金) キャリアガイダンス
 9/30(金) 1年生のためのキャリアデザインセミナー

◆1～3年生対象

- 5/13(金) 公務員ガイダンス 仕事編&試験対策編
 5/20(金) 神戸市によるガイダンス
 5/27(金) 公務員受験対策講座ガイダンス
 (各専門学校より説明)
 9月～12月 業界探究セミナー (金曜日)
 10月～11月 仕事発見セミナー (金曜日)
 12/ 2(金) 地方就職セミナー
 2月 企業研究セミナー

◆大学院生対象

- 5/20(金) 大学院生のための就職ガイダンス

<私の研究>

分かりやすいユーモア研究を目指して

VAAGE Goran



大学院の恩師から「20代のうちは言語を学べ、30代のうちに他の人の研究を読み、40代から自分の論文を書き始めなさい」と教わりました。私ごとで恐縮ですが、ちょうどこの記事を書いている6月に40歳になります。これからは

論文執筆をしていこう…というように、(研究)人生は甘くありません。研究業績がないと、大学教員の仕事に就くことができないのは当然だし、この頃修士号さえ取れない時代になってきました。

私自身は神戸女学院大学に着任してから主にユーモアについて研究し、このテーマに渡って10稿ほどの駄文を執筆してきました。専門は社会言語学なので、身近に起こる言葉遣いやコミュニケーションを研究のネタに使います。日本に来てからずっと、日本人と同じ映画を見ても欧米の人となぜ笑うところが違うのかを疑問に思っていました。その答えは非常に複雑ですが、鍵は関西地方のコミュニケーションであるボケとツッコミになるでしょう。欧米では、ツッコミという概念がなく、ボケにあたるパンチラインのおかしさによって笑いが決まります。結局、ユーモアの基本構造が異なるために、笑うところも異なるということが分かりました。それ以外にもユーモアの違いについて、研究から色々なことが言えます。大雑把ではございますが、日本人は、「ウチ」の人を馬鹿にし、欧米人が「ソト」の人を馬鹿にする傾向があること、などの仮説が立てられます。

最後に、私の研究に対する考え方について少し触れます。リベラル・アーツ・カレッジの教員として、「良いアイデア」を一番大切にし、一般性のあるだけにとっても分かりやすい研究発信を目指しています。自分なりの研究を追究して、歌手の河島英五氏が歌っていたように「飾った世界に流されず」、しかしながら時代遅れの男にならないように新しい研究に目を向けていこうと思います。

(英文学科准教授)

<ゼミ紹介>

体験と実践 こころの奥底を探求する 若佐ゼミ

若佐 美奈子

若佐ゼミでは、臨床心理学や精神分析の理論を用いて、身近な出来事、人間関係や社会現象について考察することを目指しています。学生それぞれの感性や問題意識を大切にし、ゼミメンバーとの議論を通じて批判的思考を身につけ、テーマを深め、結論を導きます。

3年生時は、映画やドキュメンタリー、YouTubeなどの視覚教材を用いたり、自己表現のワークをしたりし、4年生から卒業研究に取り組みます。

児童虐待、親の離婚や再婚に対する子どもの心理、発達障害や犯罪など、重要な社会問題に取り組んでいくと、辛くなることもあるようです。私は、頭ではなく、こころで感じ、自分に問いかけてつ書くよう指導しています。学外のNPO法人に調査協力の依頼をし、インタビューなどをした学生も複数おり、意欲的に挑戦することを推奨しています。

問題に粘り強く取り組み、視界が広がった時、自分なりの考察が言葉として練り上げられた時の学生の目の輝きが、私にとって最高の喜びです。

ゼミ生に、ゼミの雰囲気について尋ねると、「アットホームであたかい」「それぞれの価値観を共有しあう」「新たな気付きを得られる」などの意見が返ってきました。毎年、公認心理師や精神保健福祉士を目指す学生が2人ずつくらい在籍している一方、一般企業に就職する学生も多数います。ゼミでの学びを糧に、自分と他者のこころを理解し、受け止め、痛みや苦しみを分かち合える人になってもらいたいと願っています。

(心理・行動科学科准教授)



コラージュ療法やKJ法などで、自己表現の方法について体験を重ねます

<課外活動紹介>

[クラブ] **ラクロス部**

人間科学部 心理・行動科学科 4年生

一人ひとりが輝ける場所、ラクロス部

学科・学年関係なく部員が集うラクロス部。様々な方向からたくさんの刺激を受け、切磋琢磨しながら活動しています。私たちは今、関西の2部リーグに所属しています。2部常連校に勝つことを目標に、「飛躍」のスローガンを掲げ、リーグ戦に向けて練習しています。自分たちで組織を作り、練習を組み、試合に挑むことは、学生主体の大学生ならではの経験です。4人の熱心なコーチ陣と部員の総力戦。大所帯ではないからこそ発揮できるチーム力。カレッジスポーツでほとんどが初心者だからこそ、4年間で大きく成長できます。

チームの中でそれぞれが役割を見つけ、マネージャーもプレーヤーも「組織の中で輝く人」になる。これが代々神戸女学院ラクロス部で受け継がれてきたチーム理念です。

ラクロス部は授業が始まる前の朝、週5日間活動しています。朝はラクロスに集中し、練習が終われば自分のやりたいことに時間を当て、様々な方面で部員が活躍しています。資格取得やアルバイト、ボランティアなど、部員それぞれが様々なことに挑戦しています。

ラクロス部で出会った同期や先輩・後輩はかけがえのない存在です。また、ラクロスを通じて大学・府県を越えて多くの出会いがあり、良い影響をたくさん受けています。

神戸女学院の四季を存分に感じることでできるグラウンドで一緒にラクロスしませんか？



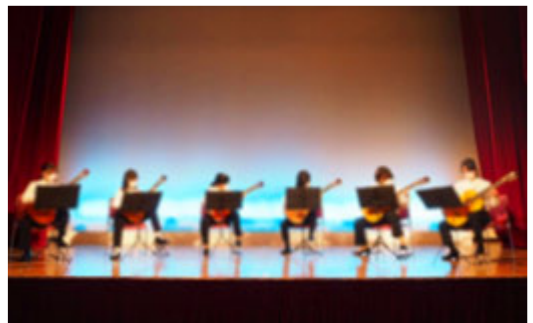
毎年恒例、東光寺への初詣ラン

[クラブ] **クラシックギター部**

人間科学部 心理・行動科学科 2年生

ギターで広がるコミュニティ

神戸女学院大学クラシックギター部です。4年生2名、3年生2名、2年生5名の合計9名で活動しています。主な活動は、一年に数回ある演奏会に向けた練習で、主に放課後、岡田山ロッジにて活動しています。演奏会だけでなく、合宿や研究発表会、七夕パーティーなど、練習の合間にくつろげるイベントも盛りだくさんです。神戸女学院大学は「関西学生ギター連盟」に所属しているため、他大学との交流も盛んです。コミュニティを拡げたい方にはぴったりの部活です。部員のほとんどは大学に入ってからギターを始めた学生ばかりでしたが、今ではソロ演奏ができる程にまで成長しています。楽器経験がある学生、音楽が好きな学生など、様々な背景を持った学生が集まっており、お喋りをするのもとても楽しいです。コロナ禍に突入し、思うような活動ができない期間もありましたが、去年は無事にオンラインで第54回目の定期演奏会を開催することができました。無観客であったため、お客さんを眼前に演奏できなかったことはとても残念でしたが、無事に成功を収めることができました。今は、6月に行われる合同演奏会に向けて日々練習に励んでいます。私たちは、今年はジョン・デンバーの「Take Me Home, Country Roads」を演奏します。人数が少ない分、どのようにしてこの曲の魅力を引き出せばいいのか、日々奮闘しています。



2021年度第54回定期演奏会の様子

中高部報告

第14回日本地学オリンピック本選報告

高等学部 3年生

私は茨城県つくば市で2022年3月13日～15日に開催された日本地学オリンピック本選に参加しました。3年ぶりの現地開催です。オンラインでの一次予選、各地の会場での二次予選を通った約60人が集いました。1日目は午後から3組に分かれて集合し、大学の先生の講義を聞く「とつぶ・レクチャー」がオンラインでありました。「世界鉱物年2022」「巨大地震の発生メカニズム」「微小地震とAIで読み解く日本列島の応力場」のテーマで3つの講義を聴きました。非常に興味深かったです。2日目は午前中筆記試験と鑑定試験がありました。例年と違い途中休憩はなく3時間連続で試験を受けました。午後は2班に分かれてそれぞれ地質標本館と国立科学博物館を見学しました。夜はOB・OGとの交流会があり、海外で研究している方から話を聞いたり、本選に来られていたOB・OGから直接、大学や国際大会のことを聞いたりしました。最終日は、朝にジオ散歩があり、表彰式があるつくばカピオの周辺のジオスポットを巡って皆で地学的観点から考察するというものでした。表彰式では、日本地球惑星科学連合賞(女子1位)と金賞(上位10名)をいただき、午後からある金賞受賞者対象の代表選抜に進みました。結果的に日本代表に選ばれ、8月に開催される国際地学オリンピックに進むこととなりました。地学オリンピックでは様々な人と交流できるので、少しでも興味があれば自分の実力の如何に拘わらず参加することをお勧めします。

競技数学の経験を通して

高等学部 3年生

私の競技数学人生は、4月7日～11日に行われた第11回ヨーロッパ女子数学オリンピック(EGMO)ハンガリー大会(日本は東京から参加)をもって一旦幕を閉じました。昨年とは違う色のメダルを獲りたかったという思いはありますが、今年も代表に選ばれ、銅メダルをいただけたことに感謝しています。

競技数学は私にとって常に楽しかった訳ではなかったし、そこにかける情熱は5年を通して一定ではありませんでした。ですが、課外活動という4文字には収めたくないと思う程大きな存在だったことに間違いはなく、おそらく5年という期間でみると一番時間をかけてきたものです。このように、中高時代に打ち込んできたものを一つ挙げられることは有難いと感じます。代表になって見えた景色は、想像していたものとは違っていただけ、代表にならないと経験できなかったことを経験できたことは誇りです。実際にジョージア(昨年の開催地)とハンガリーに足を運べていたら、きっと一生忘れることのできない思い出をつくれていたと思いますが、将来話の種にできるようなunluckyな経験をできたのも良い思い出になると思います。

これからの人生でこの競技数学における経験が活きてくるのかは分かりませんが、私の中高時代を彩ってくれたものの一つとして大切にしていきたいです。

最後になりましたが、競技数学を通してお世話になった全ての方々に感謝いたします。

日本語学オリンピックを受けて

高等学部 1年生

日本語学オリンピック2022（第20回国際言語学オリンピック日本予選一次選抜）に参加し、銅賞を受賞いたしました。初めての参加で受賞できたことを大変嬉しく思っています。

言語学オリンピックの問題は、外国語について一切の知識を必要とせず、与えられた例文とその和訳から言語の法則性を導き出し翻訳をします。共通する言葉をまとめて相違点を調べ、品詞ごとに分けて語順や時制、単数形複数形などを考えていくのは、パズルを解いていくような感覚で楽しく問題を解くことができます。

言語学オリンピックはその名称から外国語の知識を問うものだと思われ理系の生徒からは敬遠されがちだと思います。さらに例年は東京会場のみでの開催のため、他の科学オリンピックに比べるとマイナーです。私も、母に勧められるまでは聞いたこともありませんでした。母に理系の私に向いているのではと言われ、半信半疑で過去問を解いてみて、思わずその面白さにのめりこんでしまいました。

今回は準備期間が短く、また私があまり得意ではない家系図の問題が出たために、あと数点というところで一次選抜突破を逃してしまいました。銅賞を獲得できた喜びと同時に、とても悔しかったこともまた事実です。次回は一次選抜突破を目標に頑張りたいと思います。

「本好き」の話

中学部 3年生

第67回青少年読書感想文兵庫県コンクールにおいて、『「本好き」の話』という作文で毎日新聞社賞をいただきました。

「本を守ろうとする猫の話」という題名を見て、守る、という言葉に強く惹かれました。おそらく、救う、とかとは違う、本と対等に向き合う誠実さのようなものを感じたからだと思います。読んでみるとすぐに分かるのが、登場人物すべてが本当に本が好きなんだ、ということです。本来ならば悪者にあたるのであろう「迷宮の主」たちが並べるのは馬鹿げた欲望ではなく、本を愛するからこそその苦悩と彼らにとっての最善策なのです。それに応じる主人公の林太郎の一言、「僕は本が好きだけ」。この一言で、今まで気付かないふりをしていた私の本との関わりの不純さが問いただされたような気がしました。私は林太郎と同じだけの揺るぎなさで「本が好き」だと、たった一言が言えないことに気付いたのです。そして、この本に出会えたことが私の読書観を見つめ直すこの上ない経験となりました。

添削の際には、担当の先生方に表現の不自然さを指摘していただき、より良い文章にすることができました。改めて感謝申し上げます。また、私の文章のファンだという人がいると聞いたことも嬉しかったです。

「本を守ろうとする猫の話」は林太郎と主たちの対話が魅力だと思います。本好き同士の神聖なまでの対話を味わってみてはいかがでしょうか。

中高部図書室報告

I. 2021年度の主なできごと

蔵書点検 7月15日(木)～7月30日(金)

読書会 2022年2月9日(水) J1～S2

II. a 2021年度増加図書冊数(資産化図書)

	購入	寄贈	移管	合計
和漢書	20	0	0	20
洋書	0	0	0	0
合計(冊)	20	0	0	20

b 1972年以降受け入れ図書の蔵書冊数の増減 (資産化図書)

2021年度 増加数	20
2021年度 除籍数	12
蔵書数(冊)	6,321

c 消耗図書費の蔵書冊数の増減

2021年度 増加数	1,425
2021年度 除籍数	454
蔵書数(冊)	58,365

III. 2021年度貸し出し冊数

J1	5,055
J2	3,862
J3	2,437
S1	1,938
S2	747
S3	313
教職員	924
大学生・大学院生	0
その他	916
合計(冊)	16,192

貸し出し日数 210日

1日平均 77冊

(中高部図書室司書教諭)

2022年度中学部入学試験結果報告

日程：2022年1月15日(土)・17日(月)

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
135	229	228	154	143

(中高部事務室)



J1 デイキャンプ報告

4月1日、2日の2日間、J1 デイキャンプを行いました。

J1 デイキャンプとは、入学式前の新J1を対象にした行事です。新J1は新しい学校生活に期待と不安を抱えています。その不安を少しでも和らげ、良いスタートがきれるように、J3からS3の生徒約50名が半年間にわたって準備を重ねてきました。昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、密にならないよう2クラスに分けて活動したり、ゲームの内容を工夫したりしました。当初は緊張の面持ちだった新J1も、上級生の優しく頼もしいリードのおかげで、しだいに笑顔を見せてくれるようになり、J1 デイキャンプを存分に楽しんでくれたようでした。

今年のキャンプテーマは“BLUEming”。新J1の学年カラーである“Blue”と咲き誇るという意味の“blooming”を掛け合わせた造語です。6年間を通して、新入生一人一人が成長し、美しく咲き誇ることができるようという上級生の願いがこめられています。恒例のジグソーパズルづくりではクラスごとにブルーの絵具で絵を描き、各々がピースに6年間の抱負を書きました。その抱負を胸に、ブルーのみなさんが支え合いながら神戸女学院生活を謳歌し成長していってくださるようにと願っています。

(ディレクター)

ようこそ、神戸女学院へ！

4月25日にJ歓迎会が開催されました。J文化部が運営する新学期初舞台です。進級したJ3を中心としたメンバーで新入生を歓迎する会であり、新入生への文化系クラブの紹介行事でもあります。

出演団体は軽音楽部、ESS部、コーラス部、ギター部、演劇研究部です。今回コーラス部とギター部はコラボレーション企画も行い、新趣向で楽しみました。

前回行われるはずであったJ3送別会が新型コロナウイルス感染症の影響で流れてしまい、その後もしばらくクラブ活動ができなかったこともあり、練習不足を気にしながらの準備でした。さらに、送別会と歓迎会では対象も内容も異なるため、出し物も一新しての舞台です。

限られたリハーサルの機会を最大限に生かしての準備でした。またJ1歓迎会はJ1の生徒の下校時間を考慮して時間を切り詰めてスケジュールを組んでいます。どの団体も時間を気にしながら、助け合いながらの舞台です。裏方を務める文化部も時間との闘いです。

そんな不安の中での本番でしたが、終わってみれば大成功で、準備不足ではという心配は杞憂でした。お客が入っての舞台はリハーサルとは違った熱気があり、久々に人前で演技できる喜びに満ちていました。J1の皆さんもこんなに楽しく学校生活を送っている先輩を見て、入りたいと思ったクラブを見つけたことでしょう。

新入生の皆さん、ようこそ、神戸女学院へ！

(中高校教諭)

S文化系クラブ発表会

昨年度初めて開催した「S文化系クラブ発表会」を2022年度も実施しました。例年愛校バザーは文化系クラブの発表の場となっていました。今年度のバザーも秋に延期となったため、この発表会を5月に開催することになりました。21日の当日には、軽音楽部、ダンス部、ギター部、プラスバンド部、コーラス部、演劇研究部の6団体が参加し、JS文化部が照明や音響、会場設営等の裏方を担当しました。

昨年度との大きな違いとして、出演団体の部員のご家族に限り、観客としてお招きしたということがあります。昨年度から「生で舞台を見る機会がなかった保護者の皆様に見ていただきたい」と生徒から希望が寄せられていたのですが、昨年度の発表会は感染状況からそれが叶いませんでした。今年度は、講堂の定員を通常の半数以下に設定し、事前申込みの上、チケットにて座席を指定する形で感染対策を取って、実現にこぎつけました。生徒からも観客を募り、JSの生徒が舞台を楽しみました。

裏方を担う文化部にとっても、お客様を招いてのイベントは久しぶりでした。S3幹部が中心となり、歴代の文化部が引き継いできたノウハウを確認しながら、準備を重ねました。チケット制や正門での受付など新しい試みも多い中、上級生には、有観客イベントを経験していないJの後輩に仕事を教えるという、もう一つの大きな役目もあって、その奮闘ぶりには頭が下がりました。

(S文化部顧問)

体育祭

2022年度体育祭は、たくさんの方々の支えがあり、無事に終えることができました。

難しい感染状況の中、新競技を作ったり今まであった伝統的な競技を感染対策に重点を置いて考えなおしたりと試行錯誤しながら、伝統ある体育祭と新しい体育祭の狭間で何度も悩みました。大玉運び・台風の目の新競技や、玉入れ・棒引きといった今まであった競技を改良して行うなど、去年に引き続き感染症拡大防止に努めながらもより楽しい体育祭になるように工夫して、「1人でも多くの人が安心して楽しいと思える体育祭」を目指しました。

当日は雨予報が嘘のように晴れ、体育祭日和となりました。声援は禁止であったり、教室でリモートでの応援であったりなどまだまだ制限は多かったですが、生徒一人ひとりが協力して盛り上がりました。どんな形であっても今できる最大限を出し切る女学院魂を感じました。体育祭への熱い思いが見ている人や後輩に伝わったと思います。

体育祭開催に尽力してくださった全ての方々へ感謝します。

(体育祭企画実行委員会委員長)

<課外活動紹介>

[クラブ]

J美術部

J美術部は昨年の4月まで部員が0人になっていましたが、新メンバーが入部し、徐々に部員が増えてきました。コロナのために思うようにクラブ活動ができない日が多かったですが、1月には私学展に出品するなど少しずつ軌道に乗ってきました。今年は4人のJ1が入部し、部員数も9人まで増えて賑やかになり嬉しい限りです。これから文化祭やバザー、個人制作など、和気あいあいと楽しみながら活動が充実していくことと期待しています。

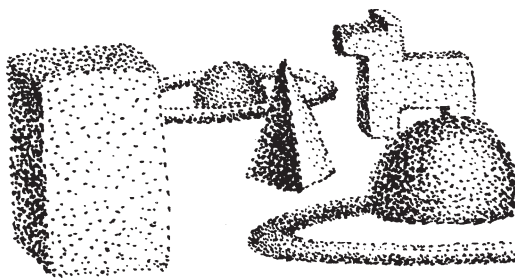
(J美術部顧問)

[クラブ]

Jテニス部

神戸女学院のテニスコートにある通称「グリーンハウス」と呼ばれる部室兼倉庫のドアに貼られている言葉が2つあります。1つ目は「快打洗心」(気持ちよく打ってリフレッシュしよう)、気持ちを込めたボールをコントロールするために、自分のポイントで打つ。そのために練習あるのみです。2つ目の「文武不岐」、テニスと勉強は、頑張るという意味では一緒です。切磋琢磨し、仲間としてみんなの頑張りも応援します。そして、一人ひとりの良いところが影響しあって相乗効果が生まれてくるでしょう。

(Jテニス部顧問)



[クラブ] **S競技かるた部**

2013年度に正式創部の若いクラブで、他部と兼部の生徒も多く、少ない練習時間をやり繰りして活動しています。

競技かるたは「畳の上の格闘技」。頭脳、身体両面の鍛錬が必要です。生徒たちは静寂の中、読手が発する最初の音に集中し、一瞬で札を払います。

これまでに全国総文祭（文化系クラブのインターハイ）に県代表として出場した生徒も複数在籍しました。今年度は、第44回全国高等学校選手権大会（映画「ちはやふる」で有名な大会）の県二次予選で第4位という成績を残しています。

（S競技かるた部顧問）

[クラブ] **S茶道同好会**

高等学部 2年生

S茶道同好会は毎週金曜日の放課後、校内にある松風庵というお茶室で活動しています。神戸女学院の卒業生でもある4人の先生方のご指導のもと、今は9月にある文化祭に向けて日々お稽古に励んでいます。お稽古では、茶道の作法だけでなく、お軸や季節のお花についても教わっています。新型コロナウイルス感染症の影響で思うようにお稽古ができないこともありましたが、今年こそお稽古の成果を文化祭で披露できるのを部員一同楽しみにしていますので、ぜひお越しください。



〈学院日誌〉

4月1日(金) 新任教職員就任式 オリエンテーション	6月1日(水) 中高部教員会議
4月4日(月) 大学・大学院入学式 学生寮入寮式	6月7日(火) 中高部体育祭
4月6日(水) 中高部教員会議	6月15日(水) 中高部教員会議
4月7日(木) 中学部入学式(保護者1名のみ参列で実施)	6月17日(金) 教授会
4月8日(金) 高等学部入学式(保護者1名のみ参列で実施)	6月19日(日) 第1回オープンキャンパス
J・S別時間帯で始業式	6月22日(水) 理事会 神戸女学院教育振興会役員会
4月11日(月) 大学前期授業開始	6月27日(月) 第1回中高部長候補者選考委員会
4月15日(金) 教授会	6月29日(水) 中高部教員会議
4月20日(水) 中高部教員会議	7月14日(水) 中高部教員会議
4月27日(水) 理事会	7月15日(金) 中高部終業日 教授会
5月11日(水) 中高部教員会議	7月27日(水) 理事会 第2回中高部長候補者選考委員会
5月20日(金) 教授会	7月28日(木) 大学前期授業終了
5月21日(土) 中高部臨時学校見学会 愛校バザー(延期)	7月31日(日) 第2回オープンキャンパス
5月22日(日) 創立者記念日	8月7日(日) 第3回オープンキャンパス
5月25日(水) 理事会 評議員会 臨時理事会 中高部教員会議	

目次

ポストコロナの授業形態を考える……………1
KCC だより……………3
神戸女学院教育振興会寄付金……………12
神戸女学院2021年度決算報告、2022年度事業計画及び2022年度当初予算……………13
留学報告……………19
史料室の窓・ダッドレー先生……………20
事務室探訪……………21
大学報告
宝塚市と包括連携協定を締結……………22
『メイド・イン・バングラデシュ』劇場公開……………22
バングラデシュ映画『地のない足元』字幕制作……………23
大阪ガス都市開発との産学共創ワークショップ……………23
「リベラルアーツ・カフェ」を開催しました……………24
2021年度 公認心理師・臨床心理士資格試験の合格率が100%……………24
「小規模だが評価できる大学」1位にランクイン……………25
高大連携協定締結について……………25
英文学科 New Student Day……………26
愛校週間と春季宗教勉強日礼拝……………29
2021年度 神戸女学院大学図書館報告……………29
2022年度 大学・大学院入学試験結果概要……………30

2022年度 在籍学生数……………30
2021年度 就職状況報告……………31
2022年度 キャリアサポートプログラム(案)……………33
私の研究……………34
ゼミ紹介……………34
課外活動紹介……………35
中高部報告
第14回日本地学オリンピック本選報告……………36
競技数学の経験を通して……………36
日本語学オリンピックを受けて……………37
「本好き」の話……………37
中学部図書室報告……………38
2022年度中学部入学試験結果報告……………38
J1 デイキャンプ報告……………44
ようこそ、神戸女学院へ!……………44
S文化系クラブ発表会……………45
体育祭……………45
課外活動紹介……………46
学院日誌……………48

下記ページは個人情報保護等のため掲載しておりません。ご了承ください。

4, 10, 27, 39, 42